

新年のご挨拶



松伏町長 鈴木 勝

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へと変更され、これまで中止していた祭りやイベント等を開催することができました。これもひとえに町民の皆様をはじめとする関係各位のおかげと、心より御礼申し上げます。

また、昨年6月に梅雨前線による大雨及び台風第2号により被災された皆様におかれましては、改めてお見舞いを申し上げます。今後も引き続き、災害に強いまちづくりに向けて、防災体制の充実を図ってまいります。

本年は、今後10年間のまちづくりの指針となる「松伏町第6次総合振興計画」スタートの大切な年です。まずは、地域公共交通計画の策定に着手し、町にとって望ましい公共交通のあり方を検討し、今後の公共交通の充実を目指します。そして、老朽化した保健センターの新たな建設に向け実施計画に着手します。更には、子育て支援の一層の充実を図るため、「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定いたします。

町民の皆様との対話を大切にし、共に考え、「みんなの笑顔を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、引き続き町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして龍が天に昇るような躍動の一年となりますよう祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

あなたのイツモがモシモを変える

～命を守る自助の備えについて～ 問合せ 総務課 地域安全担当 ☎991-1895



2023年は、関東大震災(1923年9月1日)から100年が経過する年でした。また、1月は阪神・淡路大震災(1995年1月17日)が起きた月でもあります。

日本は、世界で起こるマグニチュード6以上の地震の約2割を占めるほどの、地震大国と言われています。

阪神・淡路大震災では、建物の倒壊等から救助された方のうち、自分自身や家族の助け(自助)により助かった方が7割、隣近所や友人の助け(共助)により助かった方が2割、消防や救助隊等の助け(公助)により助かった方が1割になります。

いつ起きるかわからない地震には、日頃から自分自身の備え(自助)が大切です。

埼玉県と松伏町では、地震への備えを平時の生活と切り離して「特別なこと(モシモ)」として捉えるのではなく、「イツモ」の生活の中で自然体で当たり前のこととして取り組む「イツモ防災」を推奨しています。

モシモに備えて
できること

① 防災グッズ



② 家具の固定・災害時の連絡 3日以上の水・食料備



③ 災害時のトイレ



▲①～③の詳細は
こちら。

イツモ防災 マニュアルブック 検索

引用:埼玉県イツモ防災マニュアルBOOK